

「第3回三次市学校給食調理場整備計画策定委員会」会議記録

1.下松市立小学校給食センター視察

【資料説明】学校給食課 池田課長

【見学】

【給食試食】

2.現地視察を終えて車中にて

【委員長挨拶】

【本日の感想】

委員長 ちょっと座って私の方からまず、感想を言わせていただきたいと思います。まずは三次市教委の皆様方、ほんとに新しく8校の単独調理場だったところを1つのセンターにしたという今回の三次の調理場、新しい調理場の建てるにあたってのとてもいい参考になるところを見せていただいてありがとうございました。4,000食の給食センターということで施設そのものがどうなっているのか、運営がどういうふうにされているのかというのをすごく興味持って行かせていただいたんですが、ただの4,000食のセンターというよりは、私は、下松市の小学校学校給食センター、下松市がやっている運営している給食センターっていうイメージをすごく持ちました。所長さんであり課長さんである池田課長さん所長さん、ほんとにいろんなことを良しも悪しも全部隠さず言っていただいて非常に参考になりましたし、下松市としてのコンセプトをちゃんと持ってそして子供たちへの給食提供をしているという姿がほんとにいいな理想的だなあというふうに思いました。具体的には、美味しい和食の提供ということで、地場産の活用や食の指導についてもアレルギー対応にしてもされているということ、最初はやっぱり大変だとは思いますが、体制が整うまでは、また周りの理解も得るためには2年3年はやっぱりかかるんだろうなとは思いますが、やはりそうしたみんなが一人一人がその立場での責任を持ってそしてお互い立件していくというほんとにそういった給食センターだなというのをすごく印象に残って、いいもの見たなと思いました。ということで、私の感想とさせていただきたいと思います。続きまして、委員からいただいて、順にマイク回しますので、お名前言っていただいて感想の方お願いいたします。

委員 今日はありがとうございました。感想の前に調理場に対しての思いを少し言わせてもらおうと、これまで地域との繋がりの強い単独調理場の良さは十分認識してきていたんですけど、10年位前から調理場に対しては、職員体制あるいは衛生管

理, 年々増えているアレルギー対応についてですね, 問題があるなあというふうに思っておりました。それを解消するためにはやはり一定規模の大きさの施設がやっぱり必要になってくるだろうというふうに思っています。しかしながら, 4,000食の規模の調理場に対しては本当にいろいろと不安材料が多いように視察の前に思っておりました。しかしながら今日の視察を通してですね, 私の中にあったその不安材料は概ね解消できたというふうに思っています。ただし, 地産地消については, 私はなかなか難しいなあと課題があるなあというふうに思っています。このことについては, 今後どういうシステムなら少なくとも現状の地産地消率を維持あるいはさらに向上させることができるのかなあということは考えていかなければならないなあというところの感想を持ちました。以上です。

委員 失礼します。今日はどうもありがとうございました。お世話になりました。和田も田幸の共同調理場の方から納品いただいているのですが, そうは言いましても最後に聞きました建物の老朽化というのは●のところがあり, 常駐されている校長先生方は古くなった調理場をこれから寒くなるんですけれども凍結とかいろいろなところで悩みが増えられる季節になってきている中, 調理場の調理員さんの方が苦勞しながら作ってくださっているというのを聞くにつけ, 今日見学させていただいて新しい設備というのは働いてくださる方にとってもとても楽なのではないか, 機械が新しくなればなるほど作る方も楽なのではないかなというような思いも聞かせていただきました。行政のほうのサイドも, 給食徴収についても朝早くから事務の先生がいて封筒手渡しというような学校もまだ存在する中でいうと, この機会がチャンスないかなあというところも思いながら聞かせていただきました。ただ, 先ほども委員も言われましたように田幸などは本当に地域の方が野菜を出してくださって生産者が見えるような形での給食がされている。三次市で何か工夫してそういったような形のものでできていったらなというような思いで●での, いろんな形での三次市の子供たちに給食が提供できるならというような思いで見させていただきました。いろいろと業者の方の思いもありますのでそのあたりをみながら進めていかなければならない課題もあります, やっぱり新しい施設っていうのは使いやすいなとか働きやすいだろうなというのはつくづく思いながら帰らせていただいております。以上です。

委員 私もう 25 年くらい調理勤務, 調理の仕事をしてきたんですけど, 今日のような 4,000 食っていう施設は初めて見させてもらいまして, 今回●してよかったと思います。今私たちが現場で働いている施設と比べてみると機械も新しいのがたくさん入っていて, 今の私たちの現状からちょっと考えられないような●もあるなと感じました。今 700 食くらい作っているところからちょっと 4,000 食は想像が難

しいですけど、三次市は範囲も広いので 1 箇所というよりは今老朽化した施設だけじゃなくて周辺の施設も老朽化するということを将来考えたような施設を数か所考えるとしていった方がいいのかなというふうには感じたんですが、今日は新しい施設を見させてもらってよかったと思います。ありがとうございました。

委員 今日はありがとうございました。私もいろんな視察に行かせてもらって新しい機械は見るのがあって今日も機械についていろいろ思うことはあったんですが、今日はそれは聞くべきではなかったのかなと思って、聞かずに私なりに我慢をしましたが、最初からこの会のスタートから三次市市教委の基本方針は 4,000 食規模という基本方針が初日に説明をされ今日はそれにそぐうように 4,000 食の規模を見に行き、何か 4,000 食ありきで話が進むってような気がしてずっと見守っているところです。新しいのはもちろん、いろいろ考えてあるので特に間違いはないんですけど、やっぱり三次市の状況を考えると先ほど委員が言われたように、地域的にも●では、運べる、どこに建てるかわかりませんが●ではないかという、まあ校数が全然違うのと、今日は小学校と中学校と分かれた施設●とありましたけど、三次市は中学校も含めて考えておられるので●だったり、防災のことも考えると 4,000 食というのはどうなのかなというのが思いであります。地産地消もアレルギーについてももうちょっと細やかな対応ができるようにすれば、複数に分けた方がいいのかなというのはずっと思っています。豪雨自然災害もそうですし、●事故の時も●の時のあとの対応は考えた方が小回りが利くのかなと、いろいろ対応ができるのかなというふうに思っています。まだまだ、この会も残りが少ないのでまとめに入るような方向にいくんですけど、できれば 4,000 食の基本方針だけじゃなくて三次市を具体的に分けて 2 つとか 3 つの場合はどうなのかと 1,000 食 2,000 食とかという単純な計算ではなくって、たとえば三次市の中学校区だったら、どこどこをかかえて、どれくらいの規模だったどうなるのかというようなそういった複数の案を聞いてみたい。そういうのは業者さんにいったら委託料とかそういうのは私にはわからないんですけども何かいろんな具体的なシミュレーションをしたものがちょっと知りたいなというのと、委員が言われましたけど、行政がすごくコンセプトをもってやられているので、今も三次市は場長と校長先生で、学校に投げられている任せられているんですけど、行政ががんばって方向性を出していただければいいのかなという思いもあったりしました。でもありがとうございました。もっと近くでたくさん話を聞ける時間があつたらもっとよかったなと思いました。

委員 今日は施設を見に行かせていただきまして誠にありがとうございました。この前調理場というのが新しくなるというのがよくわからなかったのですけれども今日

見にいかせてもらってやはり安全面であるとか働く側としての面であるとかそういった面に関しては本当にいいものだなというふうに思って、どこ見ても是非、建築の方をしていただきたいと思っているんですけども、今日この建てるのもお金がかかりますし、そのあとの更新、機器の更新であるとか、そういう面であるとかやっぱりお金がかかってくるというところで、このお金がかかる部分で今後、行政にお願いしてるのは遊具と、今子供たちの中にはJIS企画に合っていないものとかで遊んでたりして危ないということですね、そういった面で要望を出したりしているところもあるんですけども、もし今後通信機器とかのそういった部分の圧迫されててどこかの所が泣きを見るというのではいけないのかなというところがあって、なので果たして4,000食の施設を建てないとダメなのかなというところがちょっと、少子化の今まだ行政でがんばっていただいているんですけども、やはり少子化という部分は今まだ進んでいるところであるので、今一度そういった部分を見直していただけたらなというふうに思いました。以上です。

委員 今日ありがとうございます。感想としてはですね、4,000食規模のセンターを構想するなという実際にイメージするという場面にして実感ができたというのは非常に収穫だっただろうというふうに感じます。この先構想を重ねていくあと2回ですけど、構想を重ねて行く中で、先ほど皆さんも言うておられたように全体でセンターがいいのか、これまでの更新がいいのかというようなところはもうちょっと意見を重ねた方がいいんじゃないかなと思います。それと、あと今日のスケール感なり規模感4,000食のスケール感の話聞いたときに地産地消の取り組みのところで、食材の供給ということに対してやっぱり地元産品だけでは非常に厳しいんだろうな、そこに数値も示されたのが地域の数字だったと思うんで、下松が70%だったと思うんですけどやっぱりある程度4,000食の物量を原材料の確保というところはそういうある程度量はあるんだなというふうに思うので、それを調達、安定的な調達を考えたときにはやはりもうちょっと地産地消の取り組みの中で、ちょっと考えていかんと維持できないんだろうなと思いました。それから、あと事務局の方をお願いなんですけど、私たちのこの委員会のところマスコミの方も注目されているところがあって、あと実際に2回ということで、私たちの所で周りの人はこの委員の中で決めてしまうような、決定をしてしまうようなイメージを持っておられて方もおられて、やっぱりこの委員の目的であり集まっている意味ということについては十分に理解してもらおう方向をお願いしたいと思います。特にマスコミの方なんかで煽られると方向が難しいということになってくるので、5回を終わったところでじゃあ委員の皆さんはどうなったんだろかということでも難しいと思うんで、そこらあたり上手く調整の方お願いしたいと思います。

委員 先ほど委員が言われたようなこと地産地消なんで特にキャパが大きいので地元の供給体制をどうするかということをやっぱりしっかり議論されて●いただいてやっていたら大変ありがたい。それから生産の中で法人なり農家なりを●いただくという願いをしたいと思います。今日の施設そのものを見たときにですね、前回見させていただいたのとあまりにギャップが激しすぎるので、やはり地元のものを直していくのが果たしていいのかというのは私は疑問に思って、やはりある程度のキャパを持ち、安全性の高い施設を建設していくということが必要ではないかというふうには感じております。以上です。

委員 今日1日研修の方ありがとうございました。私も皆さんほとんど言われているんですけども、前回現地の見学をさせていただいたのと、今回新しい施設ということで見学試食もさせていただいたんですけども、やっぱり確かにギャップとかそういったものもありますし、まあスタートがやはり今の給食センターでいいのかっていうところが、そもそものスタートだと思うんですが、今、市Pの方でも先日ちょっとお話をさせていただいた中では言われているようにマスコミさんがもうドンドン先行されていろいろなことを書かれているようではあるんですけども、まあそこを時間はないと思うんですけども、もっと保護者の方にいろいろなことをアピールされて4,000人規模がいいのか2,000人がいいのか、さっき委員が言われてましたけれども予算的なものもあるし、今後の人口の推移であるとか、地産地消であるとか、ほんと難しいところはたくさんあると思うんですけども、まあ見た所でいけば、個人的な見解でいけば1箇所集中がいいのかなというふうには私個人では思いました。市Pの方で出ているのは1箇所がいいのか2箇所とかというような案もあるんじゃないかというような話も一応出ておりましたので、そこは皆さんの方に連絡の方はさせていただきたいです。アレルギー対策であるとか、そういうのはやはり言われている方もいらっしゃいました。あとはまたねえ、どんどん中で話をさせていただいて、委員も言われてましたけれどもこれに出ていることで話が決定するとかいうようなことじゃないと思いますんで、もっとしっかりマスコミの方にはその辺煽るようなことされなくて、きちっと本当の主旨というのをしっかりと説明していただければいいんじゃないかなというふうに感じました。はい、すみません、ありがとうございました、今日。

委員長 皆様ありがとうございました。お疲れのところ。ほんとに私も新聞記事を3度も見ましてそのたびに自分の名前が挙がって自分でびっくりするような感じでしたけれども、ほんとあくまでも私たちは、それぞれの立場から意見を出していただくということで、それをやっぱり三次市としてちゃんと受け止めていただいて、何度もさっきも言いましたけれども三次市の子供たちのための三次市の学校給食セン

ターなりであって、給食、学校給食であるべきものですので、そのところは、きちんとそれなりに私たちは意見を活かさせていただけるような体制づくりというものをしっかりしていただきたいなあと思います。4,000食規模の実態を見せていただいてどういうものであるかっていうのも今回みんな把握できたと思いますし、新しい施設が必要だということもみなさんそこは一応わかっているのではないかと思いますので、来月4回目の委員会の時にはまた、皆さましっかり意見を言って、私でちゃんとまとめれるのかどうかは不安なんですけれども、それぞれの立場で、やはり意見を述べてそれをきちんと受け止めていただきたいなあと思います。以上でよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます、皆さま。

【事務局報告】事務局

【事務局連絡】

事務局 失礼します。事務連絡を行います。

私からは、次回第4回の委員会の日程について申し上げます。

まず、日時ですが、12月20日金曜日です。

場所は、市役所6階606会議室を予定しております。

開催通知を改めてお送りしますので、年末のお忙しい中とは存じますが、よろしくお願ひします。

委員 保護者からの質問は何か

【保護者からの質問内容】

事務局 今ありました、この委員会の役割をいうことなんですけれども、この委員会で出た結果で進めていくということではなく、市が方針を決めるための意見をいただいているという位置づけであります。一般質問でもいろいろ議員さんから、この度質問が出ておりますけれども、そのように答えていく予定でありますので、よろしくお願ひいたします。